

区

小学校

先生

横浜市小学校社会科研究会

3 学年部会

研修会記録

第7号

令和 2年 1月 8日

横浜市小学校教育研究会

会長 榮 秀 之

横浜市小学校社会科研究会

会長 新 井 篤 志

同 学年部長 小 泉 斎

【検討日時】

12月 4日 (水)

授業者 馬場 将来 先生 (西富岡小)

司会 益満 順也 先生 (三ツ沢小)

【会 場】

横浜市立西富岡小学校

記録 小森 竜也 先生 (日下小)

西富岡小 馬場 将来 先生の授業研 単元名「横浜市のようすの移り変わり」

自評

- ・新学習指導要領における新単元として、市や地図の視点を意識した。
- ・従来のまちを中心とした“体験”から、市の広がりなどの“地図”も意識した。
- ・地域の材から、児童にとって身近なものになるように計画した。
- ・視点を絞り、時代別（明治—昭和初期—昭和中期—現代）の見方で資料を構成した。
- ・交通の視点が出にくく、かなり引っぱる発言になった。交通や公共施設の関連についてもっと掘り下げられるといいのではないかと考えた。
- ・主体性を考えると調べ学習を行えるようにしたかったが、本単元の題材は資料そのものが少ないことや、児童が調べたことが学習の流れにそぐわない可能性があり、結果として教師の用意した資料重視となった。
- ・土地利用図については、わたしたちの横浜を基に、自分たちの地域の土地利用図を作成。分かりやすくなるように一工夫を行った。

質疑応答・意見や感想など

Q 本気の学習問題の主語がなかったが……

A 本来であれば「横浜市」が主語となるが、人でないものが主語となるのは3年生の理解としては難しいと考え、あえてぼかしている。

Q 「発展」の捉え方について

A 単元を見通す計画の中で初出。〇〇が増えた、△△ができたなど定義づけは行っている。

Q 本気の学習問題の「なぜ」がないのはなぜか。

なぜを追求し始めると、国・市等の政策や条例など、6年生で扱う「政治単元」になってくる。3年生の内容としては難しい。

Q 「たくさんの人でにぎわっているのに……」の「たくさん」の捉え方は。

A 子どもたちの富岡海岸との出会いが海の様子の写真やインタビューだった。そこから「たくさん」のイメージにつながっていった。

意 本時の目標達成につながっているか。

意 埋立地の交通は、交通ありきなのか

	明治	昭和初期	昭和中期	平成
広さ				
埋め立て	資料が用意しやすい			
土地利用				
交通				
公共施設				

俯瞰しやすい

- 意 時代別か項目毎かで児童の視点が変わってくる。何かある一つの事実を起点にすることもできる。
 (例：市電があった時、市電の最盛期、市電がなくなった後……等)
- 意 「たくさんの人でにぎわっていた」
 「たくさん」海水浴客のにぎわいと埋め立て後の町の発展による「たくさん」人では比較が難しい。富岡駅の乗降客など、比較条件を揃えられるとよりわかりやすくなるのではないかな。
- 意 人口増と土地拡大があり、それに伴って交通や公共施設が設置されたのではないかな。
- Q 埋め立ての前と後。価値はどのようになるのか。自然を意識するのが善、埋め立てが悪なのか。
- A 授業者としても悩むところ。関連を意識して本時を行ったが、関連以外にも海の存在価値について意識を広げられるとよかった。

指導講評

東汲沢小学校 中村校長先生より

- ・資料の活用が大切
- ・横浜は他市と比べると、まち（地域）→区→市→県と一段階多いので、もう一工夫できると良い。
- ・海の存在価値にも絡むが、都市発展と環境の光と闇の面を取り上げられるとよい。

笠間小学校 黒田 由希子校長先生より

- ・学級経営がよい（単語でなく文章で話せる児童、事実を求める意欲、授業意図が明確）
- ・今後の課題として、移り変わりを捉えることから、3年生なりの歴史意識を育成していけたらよい。
- ・時代と項目（上記）をまとめた年表が、児童が資料の統合や活用を行い思考・判断していく上での中心資料となりとても大切になる。→活用できる位置づけになっていたか、要検討
- ・「発展」を目的とした埋め立てなのか。必要に応じて埋め立てて開発した結果「発展」しているかもしれない。

西部学校教育事務所 主任指導主事 秦 秀治先生より

- ・横浜の社会科の学習としての形
- ・学級経営がよい（学習への姿勢がよい。大量の資料を読み取り消化し、自分の思いの発言につながっている）
- ・関連付けを意識した発言が出ていたので、それに加えて内容の是非の検証を本時に取り入れられるとより良かった。
- ・3年生の歴史に関する内容が、従来の【道具 ⇄ 人】に加え【交通・人口・公共施設 ⇄ 人】の視点が加わってきた。
- ・学習の基盤としては、市域の拡大が中心となる。そこから人口や交通、公共施設になる。
- ・土地利用図等の資料や年表を、3年生にどのように橋渡しをするべきか。
- ・ふり返しを含めて一時間と見て、ポイントを絞って行う。